

# 8/5 (土)

17:00 ~ 19:00

参加費：1,000 円

広島市まちづくり市民交流プラザ北棟 5階研修室ABC

広島市中区袋町6番36号 (袋町小の建物です)

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/kotsu.html> (地図)

## 8月5日(土)集会プログラム

- 17:00 司会/大月純子(福島原発告訴団・中四国事務局)  
開会/木原省治(原発はごめんだヒロシマ市民の会代表)  
長崎から/平野伸人(元全国被爆二世教職員の会会長)  
高校生一万人署名行動実行委員会  
岩国から/田村順玄(岩国市議)  
記念講演/武藤一羊  
発言/湯浅一郎(当実行委員会前代表)  
発言/田中利幸(当実行委員会代表)  
「市民による平和宣言2017」提案・採択  
8月6日行動提起(ピースサイクル全国ネットワーク)

19:00 終了

## 記念講演：武藤一羊さん

安倍政権を倒してどんな社会をつくるのか  
象徴天皇制を越える展望を論じよう



公権力を私物化し法の支配を冷笑する安倍マフィアともいうべき現政権は、2020年、オリンピックの祝祭ムードのなかで、新天皇と新元号のもと、彼らの新憲法を公布すると開き直った。戦後の日本列島の民衆が積み上げてきた平和、人権、主権在民の実績を一挙に覆し、私たちを国家に仕える臣民にかえる目論見である。私たちはこの企みを挫折させる本来の力をもっている。

だがその力を本当に発揮するためには、安倍政権を倒すたまたかいを通じて、私たちがその先にどのような社会をつくるのかを真剣に考える時期がきている。昨夏の明仁天皇の生前退位声明以来、象徴天皇制が新たに政治の中心に浮上した。安倍改憲を挫折させるには憲法をまるごと守らなければならない。しかし、こうして安倍政権を打倒した向こうに、私たちは、何を見るのか。天皇の象徴権力によって統合されている日本社会を見るのか。戦後国家からその最良の遺産を引き継ぎつつ、私たちは、どのような列島社会をつくろうとするのか、そこにいたる道筋は何か、それらをめぐる活発な運動相互間の討論と探求は、安倍を倒す運動をかならず強めるだろう。私はそう確信する。

### ■ 講師プロフィール

日本を代表する社会運動家であり、傑出した政治評論家。  
1952年、講和安保両条約発効抗議運動によって東京大学文学部を退学処分。  
その後、優れた英語力を活かして原水爆禁止日本協議会国際部に勤務。  
1965年、小田実や鶴見俊輔と共にベ平連(ベトナムに平和を!市民連合)の結成。  
1973年、北沢洋子らとアジア太平洋資料センターを結成、1996年まで代表。  
1998年、ピープルズ・プラン研究所を結成、現在も運営委員を務める。国内外の多くの活動家や有識者と、広いネットワークを持つ。  
1983~2000年、ニューヨーク州立大学ブリングハムトン校の社会学特任教授。  
『政治的想像力の復権』『戦後日本国家>という問題』『帝国の支配 / 民衆の連合』『アメリカ帝国と戦後日本国家の解体』『潜在的核保有と戦後国家』『戦後レジームと憲法平和主義』など著書多数。

# 憲法破壊と腐敗の政治

8・9月ロシマ平和へのつどい2017

# 安倍政権を根っこから打倒しよう!